



JASDAQ

平成21年9月14日

各 位

会 社 名 株式会社さかい
代 表 者 名 代表取締役社長 緒方 智
コ ー ド 番 号 7 6 2 2
問 合 せ 先 経営企画課長 菊谷 幸司
電 話 番 号 0 5 2 (9 1 0) 1 7 2 9

第三者割当により発行される株式の募集に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、第三者割当により発行される株式の募集（以下「第三者割当増資」という。）について、下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

発行要領

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| (1) 発行新株式数 | 普通株式 435,000 株 |
| (2) 発行価額 | 1株につき 金 115 円 |
| (3) 発行価額の総額 | 50,025,000 円 |
| (4) 資本組入額 | 1株につき 金 57.5 円 |
| (5) 割当方法 | 第三者割当増資の方法による |
| (6) 申込期間 | 平成21年9月28日（月）から
平成21年9月30日（水）まで |
| (7) 払込期日 | 平成21年9月30日（水） |
| (8) 割当先及び割当株式数 | アリアケジャパン株式会社 435,000株 |
| (9) 前号各号については金融商品取引法による有価証券通知書の提出による。 | |

以上

【ご参考】

現在の発行済株式総数	22,227,000株（平成21年9月14日現在）
（現在の資本金の額	1,720,205千円）
今回の増加株式数	435,000株
（増加する資本金の額	25,012千円）
増資後発行済株式総数	22,662,000株
（増加後資本金	1,745,217千円）

1. 増資の目的及び理由

(1) 増資の目的

当社は創業以来、東海地区を地盤に、「お手頃な価格」や「親しみやすい店舗づくり」による焼肉業態を中心にフランチャイズ加盟店の協力も得まして全国展開をしております。

当社は株式会社ジー・コミュニケーション（本店所在地 名古屋市北区）を親会社とする企業グループに属することとなった平成19年5月以降、同社および同社グループの店舗運営ノウハウの共有やグループ運営によりスケールメリットを共有することが可能となり、業績の低迷からの脱却に注力してまいりました。その結果、直近の事業年度である平成21年3月期においては、前事業年度に引き続いて2期連続の黒字となり、着実に業績の回復は進んでおります。また、かねてからの重要課題であった有利子負債の圧縮も計画どおり順調に進み、平成19年3月期末時点で70.6%にも達していた総資産に占める割合は、平成21年3月期末には37.8%にまで減少しております。

そして、今期（平成22年3月期）は更なる収益向上を目指してスタートしましたが、昨秋以来の経済不況は目に見える回復もないまま消費は著しく低迷し、直近の第1四半期においては5月の繁忙期を含んでいるため黒字は確保したものの、前年同期に比して売上高約1割減（事業譲渡分を除く）という非常に厳しい結果に終わりました。

当社としましては、この不況によって外食産業には追い風となった採用環境の好転というチャンスを活かし、より良い人材を採用することでサービスレベルの維持向上に努めて参りましたが、現在の価格以外での差別化が難しい外食市場において、“不況下でも選ばれる店舗”を実現するためには価格戦略は避けて通れないと判断し、低価格戦略へ大きくシフトすることといたしました。併せて、既にチャレンジしている低価格業態への転換も含め、これまでの店舗リニューアルを中心とした中長期的な設備投資にも引き続き注力し、食事空間等のハード面でのアプローチも含めて顧客の支持を獲得するということを全社一丸となって取り組むことといたしました。

こうした取り組みを実施しているものの、世の経済環境は未だに厳しく、当社ビジネスにおける経営環境も厳しさを増しておりますが、当社が継続的に成長するために老朽化した店舗を計画的にリニューアルすることで競争力を維持し、また、年末年始の繁忙期に備えるためにも現段階で早急に投下できる資金が必要と判断したため、本第三者割当増資にて調達することといたしました。また、本第三者割当増資による事業の成長と収益の向上は、内部留保を充実させ、株主の皆様への利益還元においても早期化に繋がるものと考えております。

(2) 第三者割当による新株式発行の方法を選択した理由

上記「(1) 増資の目的」に記載のとおり、当社はこれまで有利子負債の圧縮を重要課題として取り組んで来ており、現在の先行き不透明な経営環境下ではこれ以上の借入金の増加には特に慎重な判断が必要という認識を持っております。さらに、この不況によって間接金融による調達環境が一層難しくなったこともあり、今回は直接金融による資金調達を選択いたしました。また、資金調達時期が明確であり、店舗等の出店およびリニューアル計画を確実に決定することが可能である点からも、第三者割当増資による新株式発行の方法が最適と判断しております。

2. 調達する資金の額及び用途

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

調達する資金の総額	50,025,000円
発行諸費用の概算額	200,000円
差引手取概算額	49,825,000円

発行諸費用の内訳は、登録免許税、その他費用を予定しております。

(2) 調達する資金の具体的な用途

本第三者割当増資による資金の用途につきましては、差引手取概算額49,825,000円の全額を設備投資資金として既存の焼肉業態店舗の業態転換も含めたりリニューアル費用および関連諸費用に充当する予定であります。

(3) 調達する資金の支出予定時期

平成21年10月～12月 リニューアル費用等 49,825,000円

(4) 調達する資金用途の合理性に関する考え方

上記「1. 増資の目的および理由 (1)増資の目的」に記載のとおり、本第三者割当増資は新規出店及び店舗リニューアルという主に中長期的な設備投資資金の確保を目的としております。当社が展開する外食ビジネスは、リピートビジネスであり、顧客の支持を得てファンを増やし、再びご来店いただかなければ発展はありません。そのためは、提供する商品とサービスのみならず、その食事空間や雰囲気等にも満足または納得していただく必要があります。特に、店舗リニューアルは既存固定客の満足度向上はもとより、新規顧客の獲得や一旦離れてしまった顧客を呼び戻す効果も大きいため、業績の拡大、ひいては企業価値向上に寄与するものと考えております。

従いまして、かかる資金調達は当社の企業価値向上を通じて既存株主の利益に資するものであると認識しており、その資金用途には合理性があると判断しております。

3. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績

(単位：百万円)

決算期	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
売上高	12,317	11,467	10,166
営業利益	131	813	479
経常利益	248	688	491
当期純利益	777	654	455
1株当たり当期純利益(円)	47.92	32.01	21.94
1株当たり配当金(円)	-	-	-
1株当たり純資産(円)	41.84	72.40	94.50

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数

種類	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	22,227,000株	100%
現時点の行使価額における潜在株式数	-株	-%
下限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	-株	-%
上限値の転換価額(行使価額)における潜在株式数	-株	-%

(注) 上記潜在株式数は、平成21年9月14日時点の条件で算出のうえ記載しております。

(3) 今回のエクイティ・ファイナンスの状況

発行期日	平成21年9月30日
発行株式数	435,000株
調達資金の額	50,025,000円
募集時における発行済株式数	22,227,000株
当初の資金使途	リニューアル店舗設備及び関連諸費用
割当先	アリアケジャパン株式会社

(4) 最近3年間に行われたエクイティ・ファイナンスの状況

第8回新株予約権証券

発行期日	平成18年6月6日
新株予約権の権利行使期間	平成18年6月7日～平成21年6月6日
調達資金の額	3,000,000,000円(新株予約権行使時 1株につき200円)
募集時点における発行済株式数	5,627,000株
現時点における行使状況	行使済株式数 15,000,000株 (平成18年7月27日)
当初の資金使途	店舗リニューアル設備資金及び借入金返済
支出時期	平成18年8月より随時支出
現時点における充当状況	借入金返済に全額充当いたしております。

第三者割当増資

発行期日	平21年1月16日
発行株式数	1,500,000株
調達資金の額	150,000,000円
募集時における発行済株式数	20,627,000株
当初の資金使途	新規店舗設備及び運転資金
割当先	株式会社ジー・コミュニケーション 株式会社大光 株式会社トーア食産 株式会社松屋栄食品本舗
支出時期	平成21年2月1日～平成21年6月30日
現時点における充当状況	店舗リニューアル設備資金及び運転資金に全額充当いたしております。

第三者割当増資

発行期日	平成21年3月4日
発行株式数	100,000株
調達資金の額	10,800,000円
募集時における発行済株式数	22,127,000株
当初の資金使途	新規出店費用及び店舗リニューアル設備資金等
割当先	株式会社トーア食産 100,000株
支出時期	平成21年4月1日～平成21年6月30日
現時点における充当状況	店舗リニューアル設備資金等に全額充当いたしております。

(5) 最近の株価の状況

最近3年間の状況

	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
始 値	895円	498円	145円
高 値	895円	500円	187円
安 値	477円	131円	84円
終 値	497円	146円	114円

最近6ヵ月の状況

	平成21年3月	平成21年4月	平成21年5月	平成21年6月	平成21年7月	平成21年8月
始 値	125円	113円	110円	116円	129円	134円
高 値	130円	114円	117円	129円	138円	135円
安 値	113円	109円	110円	115円	111円	125円
終 値	114円	109円	116円	129円	135円	126円

発行決議日の直前日における株価

	平成21年9月11日
始 値	125円
高 値	126円
安 値	125円
終 値	125円

4．増資後の大株主および持株比率

募集前（平成21年9月14日現在）		募集後	
(株)ジー・コミュニケーション	51.37%	(株)ジー・コミュニケーション	50.39%
稲畑産業(株)	3.71%	稲畑産業(株)	3.64%
坂井 大介	3.56%	坂井 大介	3.49%
(有)サカイ産業	3.53%	(有)サカイ産業	3.46%
(株)大光	1.38%	アリアケジャパン(株)	1.91%
(株)トーア食産	1.34%	(株)大光	1.35%
坂井 哲史	0.91%	(株)トーア食産	1.32%
(株)J・ARTドリーム	0.89%	坂井 哲史	0.89%
自己株式	0.81%	(株)J・ARTドリーム	0.88%
井川 賢二	0.74%	自己株式	0.80%

(注)平成21年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された状況から、本日現在までに大量保有報告書等による異動確認等において当社が確認している状況に、当該増資により新たに交付予定の新株式数を反映いたしております。

5．業績への影響の見通し

本第三者割当増資により得られる資金を既存業態のリニューアルのために投下することで、業績向上による企業価値の増大および手元流動性の向上に寄与するものと考えておりますが、現時点におきましては業績への影響は明確ではありません。

具体的な業績への影響につきましては、明確になり次第お知らせいたします。

6．発行条件等の合理性

(1) 発行価額の算定根拠

本第三者割当増資による新株式の発行価格は、本増資に係る取締役会決議日の直前取引日（平成21年9月11日）の株式会社ジャスダック証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値（125円）を参考として、115円（ディスカウント率8%）といたしました。発行価格は直近の市場価格に基づくものが合理的であると判断しており、当社の株式市況、払込期日までの相場変動の可能性、当社の発行済株式数、当社の財務状況、事業環境等を総合的に勘案し、当社と割当先が協議の上、決定いたしました。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した理由

当社は、平成21年9月14日の当社取締役会において、第三者割当増資を行うことを決議いたしました。本第三者割当増資では、発行済株式総数22,227千株の1.9%に相当する435千株を発行いたしますが、これによって1株あたりの株式価値が希薄化いたします。

しかしながら、当社は、本第三者割当増資による割当予定先との関係強化が今後の事業発展を促進し、調達資金を活用した店舗リニューアルによる業績拡大が、今後の当社の競争力強化と企業価値の向上に資するものと考えております。

そのため、今回の発行数量と希薄化規模は合理的であると判断しております。

7. 割当先の選定理由等

(1) 割当先の概要

商号	アリアケジャパン株式会社		
割当株数	435,000 株		
払込金額	50,025,000 円		
事業内容	天然調味料の製造及び販売		
設立年月日	昭和 41 年 6 月 2 日		
本店所在地	東京都渋谷区恵比寿南三丁目 2 番 17 号		
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 田川智樹		
資本金の額	7,095 百万円		
発行済株式数	32,808 千株		
純資産	41,308百万円（連結）		
総資産	49,247百万円（連結）		
事業年度末日	3月31日		
従業員数	604名（連結）		
主要取引先	天然調味料に係る国内外の製造および販売会社		
大株主及び持株比率	ジャパンフードビジネス株式会社（16.27%） 岡田 甲子男（12.85%） ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー（9.76%） 財団法人岡田甲子男記念奨学財団（6.69%） 全国共済農業協同組合連合会（4.57%）		
主要取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJ銀行		
当社との関係	資本関係	該当事項はありません。	
	取引関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
最近 3 年間の業績（連結）			
決算期	平成19年 3 月期	平成20年 3 月期	平成21年 3 月期
売上高	22,449百万円	22,961百万円	21,736百万円
営業利益	5,466百万円	4,074百万円	2,890百万円
経常利益	5,300百万円	3,493百万円	1,830百万円
当期純利益	3,110百万円	1,851百万円	789百万円
1 株あたり当期純利益（円）	95.50	57.65	24.80
1 株あたり配当金（円）	30.00	30.00	40.00
1 株あたり純資産（円）	1339.05	1349.94	1290.55

（注）資本金の額、発行済株式数、純資産、総資産、従業員数ならびに大株主及び持株比率は、平成 21 年 3 月 31 日現在におけるものです。

(2) 割当先を選定した理由

アリアケジャパン株式会社は、外食産業と関係の深い天然調味料のトップ企業であり、現時点で当社との取引はありませんが、グループ兄弟会社とは既に取引関係があります。今後も調味料等食材の調達先として取引の拡大を見据えており、中長期的なご支援をいただけるものと判断したため、割当先として選定いたしました。また、同社は東京証券取引所第一部上場企業であり、その社会的信用力及び会社の体制、方針において資金の確保と払込が適切に履行されるものと判断しております。

なお、当該割当先におきましては、反社会的勢力との取引関係および資本関係等において、一切有しておらず、また将来におきましても同関係を有しないことを確認いたしております。

(3) 割当先の保有方針

当社は、割当先との間において、割当新株式について継続保有及び預託に関する取り決めはありませんが、中長期的視点で協力関係を構築いただけることを確認しております。

なお、割当先との間において、割当新株式効力発生日（平成21年9月30日）より2年間において、当該新株式の全部又は一部譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価格、譲渡の理由、譲渡の方法等を当社に書面にて報告することの内諾を受けております。

(4) その他重要な契約等

該当事項はありません。

(5) 親会社等との取引等に関する事項

本取引は、親会社等との取引等に該当いたしません。

以上